

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	38257	
事業名	スタートアップ創出支援費						
評価担当課	所属名	経)経済戦略推イノベーション					
	課長名	吉田 泰斗	担当者名	梶原 雄揮	電話番号	211-2379	
施策名	主	創造性を生かしたイノベーションの誘発					
	副						
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	● 対象 ○ 対象外			
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費						
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理						
事業内容	実施形態	○ 直営 ○ 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助助成 ● その他					
	目的	短期	札幌・北海道スタートアップ・エコシステム推進協議会で掲げる2024年度までの5つのKPI達成を目標とする(①資金調達するスタートアップ数、②資金調達額、③スタートアップ向けファンド規模、④スタートアップビザ発給件数、⑤大学発スタートアップ数)。				
		長期	札幌・北海道における創業の機運醸成を図り、スタートアップの創出やエコシステムを構築することで、創業者数を増やし、経済活性化を図る。また、若年層の道外流出を防ぎ、道外、海外からの人材獲得、流入を実現し、活力があり選ばれる都市を実現させる。				
	取組内容	STARTUP CITY SAPPORO事務局にてスタートアップを支援。①情報発信(WEBメディア運営やウェビナー開催、国内外イベント出展)、②相談窓口(土業相談や海外展開、行政相談窓口を設置)、③学生向けアントレプレナーシッププログラム、④コミュニティの形成、⑤さっぽろ連携中枢都市圏と連携し、スタートアップとの協働によるオープンイノベーション、⑥アクセラレーションプログラムの運営支援、⑦スタートアップ立地促進補助金。また札幌・北海道スタートアップ・エコシステム推進協議会で産学官共同での総合産官学一体となったスタートアップ支援を行う。					
実施結果	スタートアップイベントへの出展やWEBメディア掲載、ウェビナーの定期開催等普及啓発、事業相談窓口の設置、人材育成として高校生および大学生向けのアントレプレナーシッププログラム、社会人向け起業家育成講座、さっぽろ連携中枢都市圏での行政オープンイノベーション「Local Innovation Challenge HOKKAIDO」などの事業を実施。ウェビナーのリーチ数1,732人、相談件数180件、高校生および大学生向けプログラムではリーチ数計859人、行政オープンイノベーションでは59社からの応募があり、4件を採択、スタートアップ立地促進補助金では6件を採択。						
事業実施における工夫点	産学官民金が共同で事業を進めることで、事業のインパクト及び効果を最大限に高める。						
対象者	起業無関心又は起業に興味を持つ若者、スタートアップ企業			開始	平成31年度	終了	0年度
関連法令・条例・要綱等							
他都市の状況	内閣府のスタートアップ・エコシステム拠点計画で、8都市が拠点都市として選定。グローバル拠点都市:東京、愛知・名古屋及び浜松地域、大阪・京都・ひょうご神戸・福岡、推進拠点都市:札幌、仙台、北九州、広島地域。						

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	39,645	58,000	45,459	106,000	
うち特定財源	0	0	0	0	
人工	0.8	0.8	0.8	2.6	
人件費	5,760	5,760	5,760	18,360	
計(事業費+人件費)	45,405	63,760	51,219	124,360	
事業費の内訳	令和3年度決算	STARTUP CITY SAPPORO事務局運営:33,445千円 スタートアップ創出補助(Open Network Lab Hokkaido支援費など):7,877千円 札幌・北海道スタートアップ・エコシステム推進協議会の運営:326千円 スタートアップ誘致・創出支援補助:3,782千円 市事務費:30千円			
	令和4年度予算	STARTUP CITY SAPPORO事務局運営:63,330千円、スタートアップ創出補助(Open Network Lab Hokkaido支援費など):5,270千円、スタートアップ誘致・創出支援補助:20,000千円、イノベーション創出拠点調査:2,000千円、女性スタートアップ人材育成:11,000千円、外部人材採用経費:1,650千円、外国人起業補助:1,080千円、市事務費:1,670千円			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
活動指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
成果指標1	指標名	札幌・北海道のスタートアップの資金調達額(単位:千円)			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
	480,000	100,000	6,940,000	6,000,000	
成果指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	札幌・北海道のスタートアップ資金調達額は69.4億円と目標を大きく上回る実績をあげ、札幌においても企業の成長(雇用増など)につながっている。また、大学生向け起業プログラム参加者からは、将来的に起業を志す者が出てくるなど、若年層の起業意識の向上に寄与している。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	他都市の予算規模や組織体制と比較しても、事業規模はまだまだ小さい状況にある。スタートアップの創出や集積などにおける、都市間競争に打ち勝つため、札幌・北海道の強みを生かした、スタートアップ支援、エコシステムの促進を図っていく必要がある。			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	STARTUP CITY SAPPOROは札幌市、さっぽろ産業振興財団、受託者である株式会社D2Garageで事務局を担い、北海道経済産業局や北海道などの行政機関、NoMaps、道内民間企業などと連携して事業を行っていることから、実施手法としては妥当と考える。			
対象者の満足度 (対象者のニーズにしているか)	A	成果指標である資金調達額は、目標を大きく上回っている。コロナ禍のためオンラインによる事業相談やアントレプレナーシッププログラムにも多くの参加者が集まり実施。また行政オープンイノベーションでは4件の実証事業を採択し、スタートアップの成長に資する事業となっていることから、ニーズにしている。			
市民参加の実施	<input checked="" type="checkbox"/> 企画 <input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input checked="" type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応		<input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映
今後の改善点	本事業開始から3年が経過し、スタートアップ型の成長を目指す起業志望者に向けた支援は充実してきている。一方で、その後の支援、特に資金面の支援はまだまだ他都市に見劣りする状況であり、地元企業のスタートアップ投資への啓発、新しいシードファンドの組成、都心を中心としたベンチャーキャピタルや投資家へのPR支援等の資金調達を加速させる支援が必要。				
前回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	Ameliasが実施する女性起業家支援プログラムに渋谷区、神戸市、横浜市と連携。女性のみを対象にしたスタートアップ支援は初の取り組み。		見直し効果額 (前年度)	0	千円
今回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	産学官金のスタートアップ支援関係者も増え、札幌・北海道におけるスタートアップ支援も盛り上がりを見せている。またスタートアップの資金調達額なども確実に増加してきているため。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	● 改善 ○ 現状維持 ○ 休止・廃止 STARTUP CITY SAPPORO事務局や札幌・北海道スタートアップ・エコシステム推進協議会で取り組むスタートアップ支援を通して、スタートアップの集積、成長支援を行い、更なるスタートアップ・エコシステムの促進を図っていく。			
	予算	● 拡充 ○ 現状維持 ○ 縮小 ○ その他 札幌・北海道スタートアップ・エコシステム推進協議会のKPIの中でも特に資金調達するスタートアップの数や資金調達額を伸ばすことに重点を置き、スタートアップの集積、成長支援に必要な事業を実施していく。		見直し効果額	0